別添１（１）

指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　西公園

２　指 定 管 理 者 名：　にしてつＧ・いしはらＤ公園管理団体（代表団体　株式会社西鉄グリーン土木）

３　指　定　期　間：　令和４年４月１日～令和９年３月31日

４　施 設 設 置 目 的：　都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに指定管理者の管理運営実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

別添１（２）

①管理運営状況総括表

（西公園）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・由緒あるかつての景勝地であり、風致公園であることを踏まえ、四季を通じて快適で安全な公園とする。	・風致公園として自然樹形を壊さぬよう努め、地形を活かし、四季を通じて安全に花々を楽しめるよう管理運営を行っている。
	・野良猫対策を実施する。	・近隣住民の理解と協力のもと、地域団体と協働して、園内の野良猫に対して保護活動や実態調査を継続して実施している。
	・公園の安全利用上の諸問題については、マナー啓発や注意指導等により解決する。	・相談や苦情は事前に定めたマニュアルに従って対応している。また、舞鶴館前に「無断立ち入り禁止」の看板、１号トイレ前等には「自転車・バイク乗り入れ禁止」の看板を設置することで来園者に周知を図り、迷惑行為に対応している。
②施設利用及びサービス向上	・舞鶴館を活用する。	・大濠公園の日本庭園茶会館の予約希望者に対し、希望日が空いていなかった場合は代替施設として舞鶴館を案内することで、利用促進を図った。
	・自主事業として、さくら谷ライトアップ、ドッグラン関連の取り組み、こども将棋教室等を行う。	・さくら谷ライトアップを引き続き実施した。ドッグランでは、受付付近に花壇を設置して景観を向上させるとともに、大型犬優先時間帯の取組を継続して実施した。さらに、ドッグラン広場に芝を張り、芝の隙間に土を充填することで、木の根元付近の段差を修復し、利用促進に努めた。
	・相談や苦情への対応を行う。	・鳥のエサやりに対する苦情があった際はスタッフが現場に向かい注意を行った。また、新たに「何故エサをやってはいけないの」という図解チラシを作成し、エサやり発見時には本チラシを手渡し説明を行った。加えて、外国人観光客への周知を図るため、英語版と韓国版も作成し、活用している。
	・安全対策・危機管理を行う。	・園路を通行する車両に対し徐行を促すため、カラーコーンに掲示物を等間隔に14か所設置し、安全対策を行っている。 ・舞鶴館、ドッグラン利用者数:9,194(人・頭) （対前年度比94.8%、対Ｈ30年度比480.1%）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	・光熱水費の削減に努める。	・雨水利用タンクで花壇の潅水作業を実施し、水道使用量の削減に努めた。 ・舞鶴館、ドッグラン利用料金収入実績：1,931千円 （対前年度比103.0%、対Ｈ30年度比474.4%、対Ｈ17年度比775.5%） ・委託料実績額：21,780千円 （対前年度比100.0%、対Ｈ30年度比64.1%、対Ｈ17年度比61.7%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	・責任者には豊富な実務経験と資格を有する者を配置する。	・現場責任者として、実務経験を有する１級土木施工管理技士、公園管理運営士等を有する人材を配置している。
⑤施設管理上の個別事項	・強風による倒木や破損の恐れのある対象樹木に対処する。	・樹木医による計画的な樹木診断を行い、倒木の危険のある樹木の把握や対策に努めているほか、台風や大雨などの災害の発生が予想される場合は、通常の側溝清掃に加えて改めて側溝清掃を行ったほか、現状把握や早急な復旧のため作業員が待機し巡回を行っている。

②点検結果

□ Ａ＋　（提案内容を上回った） □ Ａ　（提案内容をやや上回った） ○ Ｂ　（概ね提案内容どおり） □ Ｃ　（提案内容をやや下回った） □ Ｄ　（提案内容を下回った）	【総合コメント】 博多湾に面した丘陵地で数多くの自然の樹木に包まれ、眺望や散策を楽しむことができる公園として、植栽管理や園内清掃等を適切に行っている。 大濠公園の日本庭園茶会館の予約希望者に対して、希望日が空いていなかった場合は代替施設として舞鶴館を案内することで、利用促進を図った。 鳥へのエサやり苦情に対しては、スタッフが現場で注意し、エサやり禁止理由を解説する多言語（日・英・韓）チラシを作成・配布して周知を図っている。 また、台風や大雨などの災害の発生が予想される場合は、通常の側溝清掃に加えて改めて側溝清掃を行ったほか、現状把握や早急な復旧のため作業員が待機し巡回を行っている。 以上のように、概ね提案内容どおり、適切な管理運営が行われている。